



北海道 HACCP 認証の取得について

2020 年 11 月 2 日
苫小牧埠頭株式会社

苫小牧埠頭株式会社（代表取締役社長 海津尚夫）は 2020 年 10 月 22 日付で温度管理型冷凍冷蔵庫「北海道クールロジスティクスプレイス」及び「勇払冷蔵庫」を対象として、「北海道 HACCP 自主衛生管理認証制度」に基づく認証を倉庫事業者として初めて取得し、本日、認証書を受領いたしました。

HACCP（Hazard Analysis and Critical Control Point：危害分析重要管理点方式）とは、最終製品の検査のみならず、各製造工程ごとに健康に害を及ぼす可能性をチェックし、対策を立て、特に重要な工程について集中的に衛生管理を行うことで不衛生な食品の出荷を未然に防ぎ、製品全体の安全性を高める衛生管理システムです。

北海道 HACCP は、北海道が独自に設定した基準を元に、HACCP 手法を取り入れた衛生管理の状況を第三者機関が評価するものです。冷凍冷蔵庫の運営に際し HACCP 認証は義務付けられておりませんが、当社では、外部評価を通じ衛生管理体制の徹底を図ることを目的に認証を申請した経緯にあります。この度の認定取得では、食に携わる当社の最重要事項である「食の安全」に関する体制整備に関し評価を頂いたものと考えております。

当社では、道内最大級の冷凍冷蔵庫・「北海道クールロジスティクスプレイス」を中核施設として、苫小牧港において「食」の新たな物流拠点を形成し、道産品の輸出拡大に貢献するため、新たな物流モデルを構築し、①食品出荷の平準化、②食品加工産業の育成、③道内産品の混載・共同化、④空港と連携した輸出入体制の強化等に取り組んでいるところです。

当社といたしましては、食の安全に向けた取り組みをさらに徹底するとともに、「安全」な物流基盤を運営・提供し、これにより食産業の成長を後押しすることを通じて、「世界の北海道」と苫小牧港の発展に貢献する所存です。

以上



【北海道クールロジスティクスプレイス概要】

建設地	苫小牧市字弁天1番45(苫小牧国際コンテナターミナル隣接地) ー苫小牧東港に立地、新千歳空港に近接、高速道路、札幌圏、苫東産業地域と連携ー
規模	敷地面積 28,441 m ² 建築面積 4,144 m ² 延床面積 14,738 m ²
構造	鉄筋コンクリート造、地上5階建(倉庫は4階層)
収容能力	20,200t うち冷蔵 7,500t、冷凍 7,700t、冷凍・冷蔵切替 5,000t
対応温度	冷蔵 0～+10℃、冷凍 -38～-25℃、冷凍・冷蔵切替 -25～+10℃ CA(Controlled Atmosphere)冷蔵庫 0～+10℃
鮮度保持機能	CA(Controlled Atmosphere)冷蔵庫 2,800t、急速凍結庫、加除湿装置
省力化設備	自動温度制御、立体自動倉庫、移動ラック、IT活用等
省エネ・環境対策	外断熱工法、自然冷媒機器(二酸化炭素、アンモニアを使用)等
BCP対策	耐震Ⅱ類、津波避難場所機能、免震装置、非常用発電機等
総事業費	70億円
着工・竣工・開業	2018年8月着工、2020年4月28日竣工、2020年5月29日営業開始

【北海道クールロジスティクスプレイス全景】



【勇払冷蔵庫概要】

所在地	苫小牧市勇払 148 番地 20
収容能力	3,536t
対応温度	冷凍 -25℃